

## 第2部会での意見を踏まえた素案の修正について

## 2 市民自治が育む自立のまちづくり

	第2部会での意見	修正案
前文 (1)	どの世代も自分から関わる仕組みを考えることが必要である。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	行政が作った施設がコミュニティ活動を促進・活性化させているか目配りも必要である。コミュニティをどのように作るか丁寧に考えるのが良い。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	多世代の交流を重視したコミュニティの再生が必要である。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	かつては3世代同居でいるんなことを学んだが、今は核家族となりその機会がない。若い人は考える能力を持っており、きちんと指標に出し具体的にすれば、理解し反映してくれる。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	次を担う子どもたちを育てていかなければならない。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	市民が一体何をしたら良いのかが具体的にすると、市民の取組が進む方向に向かう。ルールを最初に誰がひくか、どの方向にルールを持っていくかを出していかないと進まない。プロセスをきちんと書かないと、市民自治が育む自立のまちづくりは具体的にならない。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。
(1)	子どもの頃から社会参画する機会がゼロに近い。次世代を社会参画によって育てるプログラムが必要である。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。
(1)	マンション全てで管理組合や自治会活動が行われている訳ではないので補強が必要である。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。

5 環境を守り育てるまちづくり

		第2部会での意見	修正案
	前文	市民が努力をして環境負荷の少ないまちづくりをしても、通過交通が減らない限りその努力が報われない構図がある。だからこそエコタウンとして積極的に発信し、社会をリードする取組が必要である。	趣旨を踏まえて修正。
	(1)	市民自身も原因者である自覚を持ち、環境負荷の少ない住みよいまちづくりを一人一人が行っていく結論とする。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	生産緑地内の農地を借りて、農業公園的なやり方をしている自治体がある。一般の公園よりはるかに多くの方に利用してもらえ、交流が生まれる。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	生産緑地のような空地进行を大事にすることは、まちの成熟に必要である。リサイクルや環境問題、交流ということからも必要である。空地を作り、それを生かすことが具体的に書かれていなければならない。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	第2次総計と同様に、生産緑地の保全を位置づければどうか。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	生態系の話とともに、緑の増えるまちづくりを書き込む。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	市民自らが緑を育てる取組が必要である。	趣旨を踏まえて修正。
	前文	単なる環境の保全だけでなく、次世代に残せる環境を保全する等の具体的な言葉を加味する。	内容は前文で記載されているので、修正は不要と考えられる。
	(3)	地域でクローズする発想の循環型社会を作るならば、生ごみや剪定枝を土に返している空間を作ればどうか。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。

5 魅力的で安全なまちづくり

	第2部会での意見	修正案
前文	都市づくりの中で、環境配慮に力を入れ、環境重視のスタンスをとることを謳う。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	コミュニティが住民のネットワークで強化され、警察とのパートナーシップで犯罪発生率を下げることを進めないといけない。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	市民同士の温かい人間的な面で犯罪を抑止するという、人の目で防犯をしていくことを強く言う。	趣旨を踏まえて修正。
(1)	コミュニティの普通の暮らしの中でできる防犯がある。それが参加の最初の一步であり、そこから主体としての市民の役割が出て	趣旨を踏まえて修正。
(1)	救急時の対応など市民生活に配慮する。	趣旨を踏まえて修正。
(2)	自転車を活用できる基盤整備について検討してはどうか。	環境に配慮することについては修正。自転車の活用などは基本計画において検討。
(3)	開発をすると緑が減るのが当たり前で、緑の増えるまちづくりというような題を盛り込めないか。	趣旨を踏まえて修正。
(3)	マンション建設について市民意見が多く出ていたが、この重要性を認識し、「緑豊かな」という基本方針を外さないようにする。	趣旨を踏まえて修正。
(4)	街並み、景観、歴史的環境をもう少し書き込む。ニュータウンも大事にするが、歴史も一方で大事にしていることが分かるようなものにする。	趣旨を踏まえて修正。
(4)	「景観に配慮したまちづくり」を項目として起こす 「緑」についても記載する。	趣旨を踏まえて修正。
	安心で安全なまちづくりをする強い意思表示を書き込んでいく。	「第2章 吹田市の将来像」の中で記載を検討。
(4)	歴史文化まちづくり協会、センターの活動の大きな方向の流れをここで位置づける。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。

6 活力あふれにぎわいのあるまちづくり

		第2部会での意見	修正案
	前文	都市生活の変化のとりえ方が不足している。今までの産業振興、就業支援の延長ではいけない。	趣旨を踏まえて修正。
	前文 (1)	コミュニティワークやコミュニティビジネスについて考えていかなければならない。	趣旨を踏まえて修正。
	(1)	地域の特性が分かるような根本的な押さえが必要である。 コミュニティビジネスを含む商業、サービス業、文化的産業と大学との連携を考える必要がある。	趣旨を踏まえて修正。
	(1)	若い学生を取り込んでどうまちをつくるか タイアした高齢者にどう生きがいをもって仕事してもらうか。夢をかく必要がある。	趣旨を踏まえて修正。
	(1)	江坂やJR吹田駅前、ニュータウン内の商業地があるが、吹田の商業サービスをどうするか方向性が必要である。「吹田市商工業の新たな振興策」を参考に整理する必要がある。	趣旨を踏まえて修正。
	(1) (2)	吹田の中に大学のサテライトを作り、実学的なものをすれば会社帰りのたまり場にならないか。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	「勤労福祉」だけでなく、就労スタイルの変化など内容豊かに書き換える必要がある。	趣旨を踏まえて修正。
	(2)	コミュニティビジネスは多様な就労形態を生み出す。	趣旨を踏まえて修正。
	(3)	消費生活を支える環境づくりに消費者と商業者、事業者が一致してまちづくりに取り組んでいくような観点で書き換える。	趣旨を踏まえて修正。
	(3)	「にぎわい」だけでなく安全・安心に配慮し、消費者を守ることがある。	趣旨を踏まえて修正。
	(3)	「食の安全」について書き込む。	趣旨を踏まえて修正。
	(1)	農業のあり方として市民農園や貸農園の方向もあり、みんなで農地を管理する協働の仕組みも可能ではないか。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。
	(1)	古い物を残す意味で、匠の知恵の伝承を入れる。	具体的な取組も含めて、基本計画において検討。